

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	H24年2月にオープンし、長い方ではスタッフ、ご利用者様共に6年目となり、排泄時の誘導の声掛け、多動な方の声掛けが慣れ合いになっている。	ご利用者様の立場を尊重し、ご利用者様を敬う事を意識した関り、声掛け、接遇を行う。	2ヶ月に1回実施している「身体拘束委員会」の課題歳、現状を各ユニット別に把握する。声掛け等、不適切と感じる職員に個別面談を実施し改善に努める。	12ヶ月
2	13	介護技術において、スタッフの格差が大きい。	施設内研修、外部研修に参加しケア技術の向上に努める。個人個人に適した、ケアの向上。	毎月の施設内・外研修にて、ケアスキルを向上させ、ご利用者様に貢献する。ユニット会議時に出来ているケア出来ていないケア、苦手なケアを話し合い、スタッフ個々に合わせたスキルアップの研修・助言を行う。	12ヶ月
3	2	近隣との交流が、あまりない。	地域住民の方が、来所しやすい環境をつくり、近隣との交流を図る。	公津の杜地区における独居高齢者に向け、毎月実施している「臨床美術」「アートレク」の参加促しを民生委員の方と呼び掛けていく。運営推進委員会に公津の杜地区にある他施設に運営推進委員会をお願いをし、交流を図る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。